



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 共立印刷株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7838 URL http://www.kyoritsu-printing.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉持 孝
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 佐藤 尚哉 (TEL) 03-5248-7800
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	35,219	△2.1	1,477	△11.1	1,433	△2.2	975	8.9
29年3月期第3四半期	35,960	1.7	1,661	△10.0	1,466	△12.1	896	△13.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,158百万円(16.5%) 29年3月期第3四半期 994百万円(△3.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	20.06	19.91
29年3月期第3四半期	18.43	18.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	50,000	17,049	33.9
29年3月期	48,642	16,502	33.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 16,970百万円 29年3月期 16,442百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
30年3月期	—	6.50	—		
30年3月期(予想)				6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	4.0	2,400	1.8	2,240	6.8	1,450	4.1	29.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	48,635,000株	29年3月期	48,630,000株
30年3月期3Q	149株	29年3月期	149株
30年3月期3Q	48,631,851株	29年3月期3Q	48,629,851株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、金融緩和などの経済対策効果や輸出関連企業の収益が堅調ななか、雇用情勢の改善により個人消費も緩やかに回復傾向にあるなど、底堅く推移しております。

こうした経済環境のなか当印刷業界におきましては、人口の減少や高齢化に加え、急速にデジタル化する社会構造の変化により雑誌や新聞折込チラシなどが減少傾向にあるなか、人件費や物流コストの増加などにより収益の確保が大変厳しい状況にあります。

こうした状況下にあつて、当社は、第2四半期に稼働を開始した個人情報関連媒体を専門に取り扱う新工場の生産が順調に推移しているものの、既存顧客からの折込チラシや雑誌など輪転印刷媒体の受注量減少が続いております。また連結子会社におきましては、出版印刷の受注量が減少傾向にあるものの、デジタル関連媒体への取り組みやコスト管理の徹底により業績は堅調に推移しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、352億1千9百万円と前年同四半期と比べ7億4千万円(2.1%)の減収、営業利益は、14億7千7百万円と前年同四半期と比べ1億8千3百万円(11.1%)の減益、経常利益は、14億3千3百万円と前年同四半期と比べ3千2百万円(2.2%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、9億7千5百万円と前年同四半期と比べ7千9百万円(8.9%)の増益となりました。

(売上高)

売上高は、352億1千9百万円と前年同四半期と比べ7億4千万円(2.1%)の減収となりました。

商業印刷につきましては、贈答用商品カタログや個人情報関連媒体において受注量が増加しましたものの、既存顧客から受注している一部の通販カタログや折込チラシの受注量が大きく減少したことなどにより、266億4千7百万円と前年同四半期と比べ2億9千8百万円(1.1%)の減収となりました。

出版印刷につきましては、フリーマガジンの受注エリア増加やデジタルコミック関連の取引量増加はありましたものの、既存顧客の情報誌において受注量を大きく落としたことなどにより、76億7千1百万円と前年同四半期と比べ4億3千5百万円(5.4%)の減収となりました。

(営業利益)

営業利益は、14億7千7百万円と前年同四半期と比べ1億8千3百万円(11.1%)の減益となりました。これは、同業他社との受注競争による単価下落や、既存顧客からの受注量減による売上高の減少などによります。

(経常利益)

経常利益は、14億3千3百万円と前年同四半期と比べ3千2百万円(2.2%)の減益となりました。これは、営業利益の減少や株式会社西川印刷の工場増設に係る企業立地促進の補助金が交付されたことなどによります。

(親会社株主に帰属する四半期純利益)

親会社株主に帰属する四半期純利益は、9億7千5百万円と前年同四半期と比べ7千9百万円(8.9%)の増益となりました。これは、経常利益の減少はありましたものの、投資有価証券売却益を計上したことなどによります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.9%増加し、261億2千6百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金やたな卸資産が増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、238億7千3百万円となりました。これは、ダイレクトメーكل製造の新たな拠点となる「情報物流出力センター」の竣工に伴い建物及び構築物が増加したものの、有形固定資産のその他に含まれる機械装置及び運搬具やのれんが減少したことなどによります。

繰延資産は、株式交付費が償却済みとなりました。

これらの結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.8%増加し、500億円となりました。

(負債)

流動負債は、2.0%増加し、185億7千1百万円となりました。これは、電子記録債務や賞与引当金が減少したものの、短期借入金が増加したことなどによります。

固定負債は、3.2%増加し、143億7千9百万円となりました。これは、リース債務が減少したものの、長期借入金が増加したことなどによります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、329億5千万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて3.3%増加し、170億4千9百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、引き続き受注競争の激化による受注単価の下落が見込まれますが、製造現場の更なる生産性向上に取り組むとともに、新設する個人情報取扱い専門の工場に関連設備を集中させ、市場ニーズへの対応や品質保証の充実を図ることで、受注拡大と利益の確保に努めてまいります。

当連結会計年度(平成30年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高505億円、営業利益24億円、経常利益22億4千万円、親会社株主に帰属する当期純利益14億5千万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,557,389	14,044,143
受取手形及び売掛金	9,249,939	8,827,986
電子記録債権	1,087,918	1,438,848
たな卸資産	1,193,662	1,413,313
その他	411,334	458,248
貸倒引当金	△51,672	△56,161
流動資産合計	24,448,571	26,126,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,413,115	6,855,298
土地	5,794,845	5,794,845
リース資産(純額)	5,360,401	5,268,783
その他(純額)	2,476,146	1,829,871
有形固定資産合計	20,044,508	19,748,799
無形固定資産		
のれん	1,657,831	1,503,642
その他	107,508	104,512
無形固定資産合計	1,765,340	1,608,154
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	9,805	13,969
その他	2,411,347	2,538,365
貸倒引当金	△37,380	△35,316
投資その他の資産合計	2,383,772	2,517,018
固定資産合計	24,193,621	23,873,972
繰延資産	157	-
資産合計	48,642,350	50,000,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,528,304	5,494,226
電子記録債務	5,009,199	4,717,959
短期借入金	600,000	1,450,000
1年内償還予定の社債	32,000	-
1年内返済予定の長期借入金	4,090,125	4,195,860
リース債務	1,014,171	1,096,585
未払法人税等	274,059	259,755
賞与引当金	384,268	194,309
その他	1,277,732	1,162,963
流動負債合計	18,209,860	18,571,659
固定負債		
長期借入金	7,804,657	8,360,336
リース債務	5,001,907	4,849,776
退職給付に係る負債	980,817	1,030,912
資産除去債務	32,138	32,579
その他	110,331	105,402
固定負債合計	13,929,851	14,379,006
負債合計	32,139,711	32,950,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,335,810	3,336,697
資本剰余金	3,329,940	3,330,827
利益剰余金	9,319,861	9,663,361
自己株式	△27	△27
株主資本合計	15,985,583	16,330,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	648,648	809,923
退職給付に係る調整累計額	△191,806	△170,249
その他の包括利益累計額合計	456,842	639,673
新株予約権	60,212	79,152
純資産合計	16,502,639	17,049,684
負債純資産合計	48,642,350	50,000,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	35,960,322	35,219,890
売上原価	30,912,857	30,345,443
売上総利益	5,047,465	4,874,446
販売費及び一般管理費	3,386,164	3,396,905
営業利益	1,661,300	1,477,541
営業外収益		
受取配当金	30,436	29,062
産業立地交付金	-	144,682
その他	7,390	9,386
営業外収益合計	37,826	183,130
営業外費用		
支払利息	229,287	217,470
その他	3,283	9,234
営業外費用合計	232,570	226,705
経常利益	1,466,557	1,433,967
特別利益		
固定資産売却益	17	99
投資有価証券売却益	-	131,385
新株予約権戻入益	642	-
特別利益合計	660	131,485
特別損失		
固定資産除却損	41,215	11,757
その他	4,260	-
特別損失合計	45,476	11,757
税金等調整前四半期純利益	1,421,741	1,553,694
法人税等	525,394	577,975
四半期純利益	896,346	975,719
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	896,346	975,719

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	896,346	975,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78,738	161,274
退職給付に係る調整額	19,732	21,556
その他の包括利益合計	98,471	182,831
四半期包括利益	994,818	1,158,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	994,818	1,158,551
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。